

【定住・交流環境の維持増進に向けた取組】

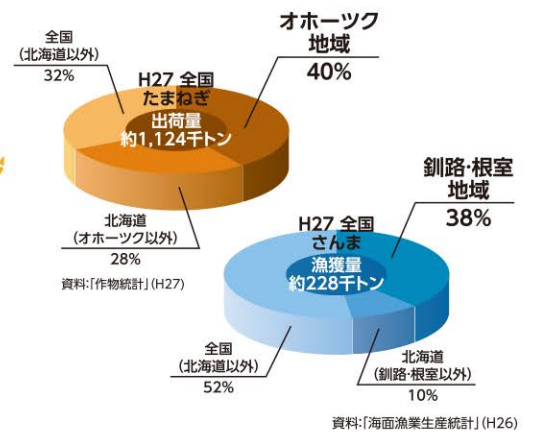
広域分散型の地域構造を支える道路ネットワークの形成

- 道東自動車道(白糖IC~阿寒IC)が平成28年3月12日に開通し釧路に到達。道東自動車道の開通・延伸に伴い、帯広地域を中心とした効率的な物流の中継拠点化が進行。
- 日本の「食」を支える道東産農水産物を一大消費地の道央及び日本全国へ効率的な輸送を可能とし、生産空間とが広域に分散した北海道における物流を支援。

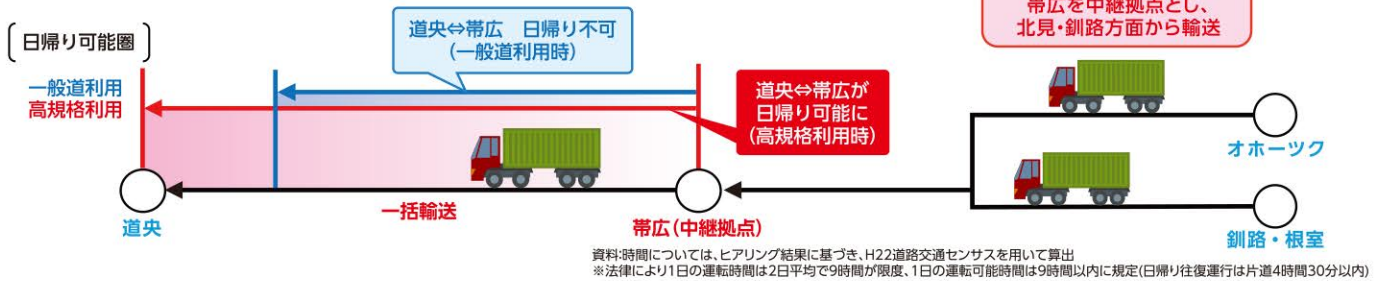
■広域分散型の地域構造を中継輸送が支える



■日本の「食」を支える道東産農水産物



■高規格幹線道路を利用した中継輸送

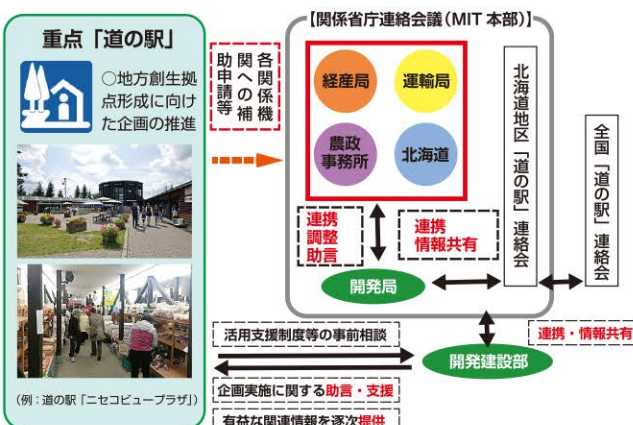


地方創生の核となる「道の駅」の支援

制度発足から25年、「道の駅」は全国各地に広がっています(道内117駅:第46回登録時)。当初は通過する道路利用者へのサービスが中心でしたが、これからは観光、産業、福祉、防災等、地域資源の活用や地域の課題解決を図るための拠点、目的地となるように支援していきます。

重点「道の駅」の支援体制

地方創生の核となる特に優れた取組を選定し、関係省庁と連携して重点的に応援する取組を実施しています。



地域の拠点となる「道の駅」への整備支援内容

- ・道の駅SPOT(無料公衆無線LAN)の整備
- ・防災拠点としての機能強化

トップページ

道の駅 SPOT

【道の駅SPOT】
(無料公衆無線LAN)

発電機

照明装置

【防災資材の備蓄】